

パート労働黒書 No.10

**最低賃金は全国一律
1,500円以上に！**



人間らしく働き、暮らすために

正規と非正規の格差解消、均等待遇を前進させよう！

雇用の原則は「均等待遇」と「無期雇用」

2023年1月 全国生協労働組合連合会

働く人々をめぐる実態

1. はじめに

生協労連は、毎年「パート労働黒書」を発行し、非正規労働者の低賃金と深刻な働き方の実態をあきらかにしています。低すぎる賃金の実態、正規職員との賃金格差、生活できない賃金のためにダブルワークや、トリプルワークをしなければならないなど、多くの課題も浮き彫りにしてきました。また、この間の物価上昇などで、これまで以上に生活が厳しい状況にあることもわかりました。生協労連がおこなった「2023年春闘準備のための生活実感アンケート」でもひきつづき「非正規」のみの収入で生活している世帯の割合が高くなっています。この1年間の生活実感は、昨年との比較で「かなり苦しい」「やや苦しい」の回答が増えています。「切り詰めている費目」は「食費」で、生協に勤めていても、安売りの店舗で食料品を購入するなどの声もあります。今回の「パート労働黒書」No.10では、「光熱費や食費の高騰で生活がきびしい」「今の年金額では将来暮らしていけない」「もし働くことができなくなったらとても不安」など、生協で働く人々をめぐる実態は、賃金の低さだけでなく、物価高騰の影響を受けてこれまで以上に過酷な状況になっています。

2. 働く人々をめぐる全般的な状況

現在、非正規労働者は2,075万人を超え、非正規率は36.7%（総務省「労働力調査」）となりました。金融広報中央委員会があらわした金融資産非保有世帯（貯蓄ゼロ世帯）の割合は、およそ26%、4世帯に1世帯は貯蓄がない状態となっており、貯蓄がある世帯でも100万円未満となっています。年収200万円以下で働く労働者も、16年連続で1千万人にのぼり、最低賃金の全国一律1,500円は喫緊の課題になっています。世界ではコロナ禍や物価高騰による国民生活の支援として、最低賃金の引き上げがおこなわれています。主要国では、イギリスは9.5ポンド（約1,600円）、アメリカのロサンゼルスでは16.04ドル（約2,200円）に引き上げています。また、フランスでは物価上昇にともなう最低賃金の再引き上げをおこない、10.85ユーロ（約1,600円）となりました。未だ1,500円にもほど遠い日本の最低賃金と、日本政府の引き上げに消極的な姿勢と政策は、世界の流れに逆行しています。

3. 「パート労働黒書No.10」から見えてきたもの

以下は「パート労働黒書No.10」の概略です。生協や、その関連会社などで働く人からの聞き取りや手記は一部のものですが、これまで以上に多くの課題が見えてきました。正規と非正規間の格差と、貧困がますます拡大している中で、私たちは誰もが人間として自分らしく生き、働き、暮らせる社会にするために声を上げていく必要があります。

- ① 現在の物価高騰に給料が追いつかない状況にあること。
- ② 自分の生活だけでなく、父母の生活費用を出さなければいけない実態があること。
- ③ 人が一人で暮らせる年金額ではないため、老後に不安があること。
- ④ 一人暮らしがしたくても、とてもできない状況にあること。
- ⑤ 光熱費の値上がりや、物価高でダブルワークをしても生活に追いつかないこと。

I. 聞き取り編

1. 男性 60 代

属性	男性 60 代
家族構成	自分・妻・子ども の 3 人家族
働き方の実態	再雇用契約 月額 19 万 3 千円 高年齢雇用継続給付金あり 一時金はない。
暮らしの実態	再雇用で働いている。国からの補助が無ければ生活ができない。 子どもは働いて自分のことは賄っているが、食費などはまだかかっている。 今年に入り光熱費や食費などが高騰し、生活は厳しくなっている。 高齢の親がいて、一時期援助していたが再雇用になり、援助できなくなった。
困っていること	県の最低賃金が低いので、月例賃金があがらない。今年これでも 1 万 5 千円あがったが、まだ生活は苦しい。
希望・要求	早く全国一律の賃金制度の確立をのぞむ。地方はいつまでも取り残されている。再雇用も 65 才まで、後 2 年。働かないと生活できない。今でも苦しいのに、今より給料が下がると、不安しかない。

2. 男性 30 代

属性	男性 30 代
家族構成	姉と姉の子ども甥 3 人（高 3、高 2、中 3） 母子家庭の姉の子どもの面倒を見ている 姉は現在子育てができない状態である
働き方の実態	職種は配送パート 入協当初は 3 日出勤の 3 コース配送（週 12 時間契約）

	現在週3日出勤、5コース配送（1コース4時間）、週20時間契約
暮らしの実態	<p>学生3人を抱え、子どもの面倒を見るのにパートタイムで仕事を探していた。</p> <p>以前はホテルのパート清掃員だったが、給料が安かった。</p> <p>食費や家賃等で生活が苦しいため配送パートに。</p> <p>お金の工面ができず色々模索の結果、里親制度を活用することができ、手当もあり、やっと人並みの生活ができるようになった。</p>
困っていること	<p>入協当初は8コースの配送（4時間×4日）ぐらい働けると思っていた。</p> <p>3コースからおいおい働く時間を増やそうと思っていた。それで、生協で働くことを決意した。しかし、配送はきついので自分の体力では、子育てと仕事の両立を考えると、配送本数（労働時間）を増やすのは苦しい。</p>
希望・要求	

3. 女性 60代

属性	女性 60代
家族構成	子どもとの2人暮らし
働き方の実態	5H×5日、再雇用契約のパートとして働いている。
暮らしの実態	親子2人で働いても、生活が厳しい。
困っていること	<p>とにかく、お金がありません。</p> <p>働けど働けど暮らしが良くなることがない。</p>
希望・要求	税金の負担を減らしてほしいし、社会保障を国で担ってほしい。常に家計への負担が重く肩にのしかかる。

4. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	7 人家族 夫の両親も同居、本人、夫=会社員 57 歳、子ども=25 歳男（勤め）、23 歳男（勤め）、21 歳女（学生）
働き方の実態	週 5 日地域担当として、配達業務 1 日 7 時間 ほかに牛井チェーン店で週 4~5 日 19:30~23:00 勤務
暮らしの実態	夫は 57 歳で会社員だが、以前の借金返済があり、収入はほとんどそちらに使われている。子ども 2 人も働いており、家賃程度は家計に入れている。ただ他は、自分の収入で賄っており、一番下の子どもの学費や生活費、車の保険や生命保険などなど、支払っている。子どもの下宿代も出せないの、家から通学しているが、通学、被服費、おこづかいなどもかかる。自分が生活費を大半払っているの、ダブルワークしていても、自分のものは我慢せざるを得ない状態がある。
困っていること	貯金もできない状態。今は社会保険に入っている、入っている期間は短いため、年金は低いことが予想される。体がきついなど言ってもらえない。将来には不安しかない。配達先で一人暮らしや夫婦 2 人暮らしの人が「大して注文できなくてごめんね」という人も多く目にしている。年をとってもお金がないと暮らしていけない。身につまされる。
希望・要望	就学前の小さい子どもさんに対する手当も必要だと思うが、一番お金が掛かるのは中学校以降の教育費。専門学校などには支援がない。そういった年代や収入の少ない高年齢者にも、国の予算を回して欲しい。将来も働いてきたのに低年金で暮らせないような社会は困る。予算配分を考えて欲しい。

5. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	配偶者・息子
働き方の実態	週 5 日 5 時間 × 5 25 時間契約
暮らしの実態	72 歳の夫もシルバー人材に登録してアルバイトをしている。年金も減らされているので余裕はない。

困っていること	老後の生活の不安がある。
希望・要求	将来の不安を無くすために少しでも貯蓄を増やしたい・時給がもっと上がること。

6. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	本人のみ
働き方の実態	1 日 6 時間× 5 日勤務
暮らしの実態	1 人暮らし。電気代など節約しながらの生活
困っていること	1 人暮らしのため、病気になった時、不安。
希望・要求	貯蓄のため、もっと時給を上げて欲しいです。(老後)

7. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	母・娘の 3 人
働き方の実態	職場限定職員（正規と同じ契約時間）、月給 日配と精肉部門を担当
暮らしの実態	朝 7 時～夜 20 時まで仕事 週休 2 日 勤務日は自分の時間が持てないので、休日は外出で気分転換してリフレッシュしています。
困っていること	人手不足の影響で有給休暇などがなかなか取りづらいです。

希望・要求	自分も定時職員も人手不足が原因で残業が多くなっているの で、体制を何とかしてほしいです。 店舗内で部門移動などをして回せる状況にしてほしいです。
-------	--

8. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	夫は 14 年前に死別。現在 1 人暮らし
働き方の実態	事務パート、シフト勤務だが、社保加入。
暮らしの実態	事務の時給は県の最低賃金より 10 円ほど高いだけ。これで週 に 28 時間働いても実質は 10 万円ほどの収入。病気で亡くな った夫の遺族年金があるが、13 万円ほど。合わせても年収 300 万円いくかどうかの金額でしかない。 夫が亡くなったのは私が 50 歳になったころです。以前は扶養 に範囲で働いていたので、会社勤めの子どもの扶養に入ろう と思ったが、遺族年金があつて入れなかった。生協で社保に加 入させてもらえて良かった。これで国民年金や国民健康保険 を払っていたら、結構負担だった。 結局自分も年金支払っていたが、夫の年金額のほうが高いか ら 65 歳になっても年金額は増えない。反対のなぜか減った。 定年が 70 歳なので、それまでは働かせてもらいたい。その先 はまだ考えていない。
困っていること	社会保障制度が不十分だと思う。社保に加入できなければ、自 己負担は多い。働いている今は何とか年金と給料で暮らせる が、年金だけになったら、どうなるのか？子どもたちには子ど もたちの生活があるし、今更一緒には暮らせないと思う。 人間が一人で暮らせる、年金額が欲しい。貯蓄のある人は、結 局もらう年金額も高いでしょう。高級取りだった人は貯金も できるし、年金も高い。そんな人ばかりではない。
希望・要求	人間一人が暮らせる年金額が欲しい。今の年金制度や、社会保 障制度を変えないとだめでしょう。

9. 女性 40 代

属性	女性 40 代
家族構成	
働き方の実態	月・水・金 5時間 火・木 8時間 週 5日勤務

暮らしの実態	生活でいっぱい입니다。
困っていること	服を買ったり、旅行に行ったりできない。 貯金もしたい。
希望・要求	給料を上げて欲しい。 もう少し長い時間、働きたい。 WワークOKにして欲しい。 給料が上がれば、働く時間が短くなって、同じ収入がもらえると嬉しい。時間も心も余裕がもてそう。

10. 男性 20代

属性	男性 20代
家族構成	6人家族 父：51歳（会社員）、母：50歳（会社員）、 妹：25歳（パート）、弟：21歳（大学生）、10歳（小学生）
働き方の実態	1日7.25時間、週5日勤務。宅配の供給（配達）をしている。 月給制パート。基本給148,360円、役割給21,800円、諸手当48,000円 総支給額220,000円、手取り170,000円
暮らしの実態	実家暮らしで、生活費を月20,000円ほど、家に入れている。 車の維持費や通信費、生命保険料等を除けば自由に使えるお金は月50,000円ぐらいです。大学生の弟は奨学金を借りていますが生活にあまり余裕がありません。
困っていること	一人暮らしをしたいが、家賃や水道光熱費を支払って、生活をしていくにはとても厳しいので実現できない。また、将来のことを考えて貯金もしたいがもちろん無理。掛け持ちで仕事をするには体力的に厳しい。
希望・要求	パート労働者でもせめて手取りが200,000円を超えてくれれば、贅沢な暮らしはできなくとも一人暮らしができると思う。

1 1. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	20 代の息子と 2 人暮らし
働き方の実態	週 4 日 29 時間 時給 1,410 円～1,560 円
暮らしの実態	時給は高いですが、週に 29 時間しか働くことができないので、生活するのがやっとの収入しかありません。ずっとダブルワークしてきても貯金できませんでした。子どもたちも成人し、体力的にもキツくなってきたのでダブルワークは今はしていません。なので生活は今も苦しいです。
困っていること	貯蓄がないのでこれから先の不安しかありません。 家電が壊れてもすぐには買えない。 孫に色々買ってあげたいけど買えない。 何でもかんでも値上げで本当に生活するのが大変。 死ぬまで働き続けなければと思う・・・。
希望・要求	正規と一緒に仕事をしているのに差があり過ぎ！！ 同じパートでも一時金ある部署とない部署あるのがおかしい！ 正規（若者）も非正規も安心して暮らせるように。

1 2. 女性 40 代

属性	女性 40 代
家族構成	夫 正規 妻 非正規
働き方の実態	夫は介護の職員でとても賃金が安い。 正直、賃金が安いのでダブルワークしています。
暮らしの実態	私の賃金と合わせてやっとなり並みになります。 どちらかが働けなくなると生活は立ち行かなくなると思います。 これから子どもが大きくなるとお金もかかってきます。 そんな時に働けなくなったらと思うととても不安です。 どちらの収入の必要です。

困っていること	これから先がとても心配です。病気もできません。
希望・要求	普通に暮らせる賃金を。 ベースアップしてください。

13. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫 (60 代、非正規)
働き方の実態	1 日 6 時間 × 5 日 勤務 時給 1,118 円
暮らしの実態	今年 8 月から娘が独立して、夫と 2 人暮らし。 食費や光熱費など、無駄を省き節約中。→節約した分、娘に差し入れしている。
困っていること	物価や電気代、ガス代の上昇に賃金が追いついていけない。 一時金も昨年より少なく、老後に向けての貯金ができない。 2 人とも実家が九州なのでなかなか帰省できない。
希望・要求	非正規でも社会保険料を支払っても生活できる賃金を！ 早急に最低賃金、全国一律 1,500 円以上を要求します。

14. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	55 歳の夫 この春から就職した長男と来春就職（内定）する次男
働き方の実態	働き始めて 12 年目、グロサリー部門で 1 日 3.5 時間 × 5 日契約。入職当時はドライ部門で 10 年働き、一旦退職したが 2 ～ 3 年経過後、同じ事業所で採用される。 長男が幼稚園の頃から自分の親に子どもの世話を応援してもらいながら、他企業で働いた経験はあるが、子どもが体調を崩

	<p>したことをきっかけに退職し、自宅から徒歩3分の今の店舗で働くことにした。子どもたちは年子のため、集中的にお金がかかる時期が続くので、パートの収入はほぼ教育費に使った。高校・大学の時期が1番支出は多かった。長男は本人の強い希望で大学を中退し、専門学校へと進路変更したので、入学金など余計にかかったが、結果的に自分の希望通りの就職ができて安心している。</p> <p>就労制限しているが、7月ころから範囲を超えないよう勤務日数を調整しなければならない。グロサリー部門には同様のパート労組員が複数働いている。</p> <p>雇用契約通りに勤務したとしても、制限範囲ギリギリの年収。中途半端に働いて、税金や社会保険料を払いたくない（また、夫の勤務先からの配偶者手当が支給されなくなることは1番困る）が、グロサリーという新しい部門を習得する負担や長時間勤務は体力的に自信がないので、長時間契約は望まない。</p> <p>稼働時間の管理が厳しく、理論上ギリギリのシフトが組まれているが、作業表を見れば、その日の作業量と体制では完結できないであろうと予測できるので、こちらから上司に残業指示を仰ぐ場合がある。</p>
暮らしの実態	<p>夫と息子3人は食欲旺盛であり、我が家は他の家庭に比べて食費は大きいと思う。一定量の食材をまとめ買いしている。</p> <p>夫はほぼ毎日定時退勤して19時には帰宅、長男もその直後に帰宅するので、アルバイトのない日は次男も含めて夕食を一緒に摂ることができ、コミュニケーションが図れている。これからは教育費がかからないので、今が1番安定して時期かもしれない。</p> <p>食費の次にかかるのは住宅ローン、価格高騰による水道・光熱費・・・。</p> <p>貯えは十分というには程遠い。</p>
困っていること	<p>店舗がこの先どうなるのかが非常に心配。事業方針が変わり、店舗の事業所閉鎖が続いている。赤字額の大きさではなく、総合的に判断して閉店が議決されるため、いつ自分の店舗が対象となるかわからず不安の中で勤務している。入職当時に比べて来店者数は確実に減っており、危機感は否めない。</p>
希望・要求	<p>ベアや最低賃金の引き上げがあっても、収入制限の範囲で働きたいので、年収は変わらない。制限の枠を広げてほしい。</p> <p>年金保険料払っている現役世代の私たちが、受給者となった時に果たしていくらもらえるのかとても心配。毎年年金の支給額は下がっていくので、それで生活するのはとうてい無理。</p>

	<p>自分の子どもたちの世代はなおのこと、年金に期待しないし、保険料も払おうとしない、払えないだろう。</p> <p>元気ならば少しでも長く働いて、老後のための貯えに回したいが、今の制度では必ず働けるとい保証はない。せめて70歳までは本人が希望すれば全員が働けるようにしてほしい。</p>
--	--

15. 女性 60代

属性	女性 60代
家族構成	68歳の夫と2人ぐらし
働き方の実態	<p>入職したのは約20年前。当時の事務所のパート職員に誘われて、いずれ管理職パートになることを前提に、小型店で一般パートとして働き始める。2人の娘の教育費に充てるために、少しでも収入が欲しかったので、長時間働ける管理職パートを希望した。まもなく管理職パートに登用され、小型店のパート店長制が導入されてからは、3店舗でそれぞれ3年間店長を務めてきた。</p> <p>2017年から、パート職員の定年年齢が60歳から65歳に延長されたが、自分は60歳になったら店長職はおきて、一般パートとして働く決めていた。61歳から現在の中型店の総菜部門で、1日4時間の週4日勤務をしている。</p>
暮らしの実態	<p>夫は55歳の時にリストラによって失職した。当時世間ではリストラする企業はあったが、自分の夫が当事者となるとは想像もしなかったので、夫婦ともに非常にショックを受けた。夫は1年かけて就職活動をおこなった結果、学校の用務員（アルバイト）の仕事をしており、会社員時代と違って勤務時間は安定している。ちょうどそのころ、多くの企業が非正規化を進めており、自分が勤務するコープでも小型店のパート店長制が導入された。当時は生活の維持に必死であったために気づかなかったが、今になって振り返ると、世の中の情勢変化が、まさしく我が家で起きていたと思う。</p> <p>夫は企業年金と国民年金の一部を受けながら勤務しているので、現在は夫の年金と夫婦のアルバイト・パートの賃金が収入となっている。娘2人は結婚して、長女は高校の臨任教員、次女は双子を出産したので、復職は断念してパート勤務をしている。娘に対する結婚や持ち家購入時の援助など親としての大きな役割は果たしたと考えているので、今は老後に向けた貯えをしたいが、思い通りにはならない。</p> <p>夫に疾病が見つかり、医療費負担が多くなっているが、体調を第1に考えて来年度で退職を考えている。</p>

	<p>自分の母親は 85 歳を過ぎたので、通院の付き添いや手術の立ち合いなどに時間を使うことも増えてきたが、店長を担っている時期であったら、きっと今のように親の世話をすることは困難だったと思う。時期的にちょうど良いタイミングで一般パートに身分変更できてよかった。</p>
困っていること	
希望・要求	<p>女性が働きにくい環境である。夫婦の両働きを希望しても、女性は出産や子育てのためにいったん退職を余儀なく決断することは多く、再度働く場合は短時間のパートを選択せざるを得ない。</p> <p>長女は教員資格を持っていたが、一般企業でしか働いた経験がなく、出産後に初めてその資格をいかして臨任教員として半年契約の勤務を始めたが、教育現場でも非正規労働者は増えているようだ。保護者からは担任教員が正規かそうでないかはわからない。同じ職務を遂行しているのに、賃金や労働条件に違いがあるのだろう。</p> <p>子育てしながら自分のスキルをいかして、一定の収入を得られる働き方を企業には考えてほしい。</p> <p>社会に出て働き始める場合は、基本的にすべて正規雇用で採用し、年齢とともに一定の昇給が保障されて、結婚や出産に伴う教育費や住宅費が計画的に捻出できる社会にしてほしい。自分が結婚した当時は、夫は定年まで働き、毎年の昇給が予定できて、生活の目途が建てられた。今は健康保険や年金など社会保障制度が改悪されてあてにならない。</p> <p>賃金の大幅引き上げにそう期待できなくとも、もう一方で生活を支える社会保障制度が充実していれば安心できる。</p>

16. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫 (70 代 個人事業)
働き方の実態	1 日 6 時間 × 3 日勤務
暮らしの実態	娘も息子も東京。夫と 2 人暮らし。 食費、光熱費もできるだけ節約心がけています。

困っていること	もう少し働きたい。 社会保険に入りたい。
希望・要求	もう少し働くこと。(活動中)

17. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	ひとり暮らし (夫とは離婚、子どもは自立し別居)
働き方の実態	8時間/週5日 時給 900 円 (年収約 200 万円) 休みの日はコンビニでアルバイト
暮らしの実態	夫と一緒に暮らしている頃からのローンを抱えていて一人になり返済が大変。運転免許は持っているが、車の維持費が大変なので節約のため、車は持たずに自転車で生活している。雨、雪の日の出勤が大変。日々の生活と老後に備えて、休日にはダブルワークをしている。そのため、ほとんど休みがない。
困っていること	持ち家がないので、アパート代が負担。年々上がっている。光熱費、物価高の影響も大きい。税金、年金など出ていく物が増え、結局手取りが減っている。大病をした後、定期的な通院が必要で薬代も負担になっている。
希望・要求	やはり時給アップ。夕方、日祭日手当が前はあったが、人事制度の変更で今はなくなった。日祭日、夕方働ける人が少ないため、いつも夕方になる傾向があるが、たまに朝の勤務もありで時間が不規則で体調が整わない時がある。評価によって時給が決まるが、基準、内容が不透明。1人で自立した生活ができるような時給を希望する。65歳定年だが、人手不足で本人の希望と職場の状況が合えば70歳までアルバイトで働ける。老後の不安もあるため70歳まで働きたいと思っている。

18. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	同じ年の夫と 21 歳の長男 (フリーター) と同居。
働き方の実態	2020 年より、週 4 日の 1 日 3 時間・総菜部門で勤務。 それまでは仕事として韓国語を教えていたが、コロナ感染防止

	<p>のため集まって教えることができなくなった。長男が自分が今働いている店でアルバイト採用を問い合わせたが勤務時間帯の条件が合わず、まったくの偶然から自分がパートとして採用された。就労制限の範囲で働いているが、1日4時間勤務を希望したいが、3時間の勤務が自分の体力や家事との関係でちょうどよく、市のボランティアとして、韓国語を教えている。日本に移り住んだのは今から23年前、大学生の頃、東京に暮らす従妹を訪ねてたびたび日本には来ていたが、その際に知り合ったのが現在の夫である。兄と弟の間の一人娘として大事にされてきた両親（特に母親）は結婚に大反対した。</p> <p>総菜部門全般の作業を行っているが、就業規則や福利厚生、労働組合がある今の店はとても働きやすい。</p>
暮らしの実態	<p>年金保険料を韓国で払ってきたが、それは現在（日本で払っている）の保険料に合算できないと保険事務所で聞いた。保険の払込期間が短いので、将来の年金には期待できないため、給与の約半分は「つみたて君」でためている。</p> <p>夫はアルミニウムを扱う中小企業に勤務している。これまでは中国から派遣労働を活用していたが、コロナの感染により、外国人労働者が雇えなくなり、その分の仕事が残業となって帰宅時間が遅くなっている。今年に入って給与が3万円アップしたが、税金や社会保険料が天引きされて、実質の賃上げは約7,000円。また、自家用車で通勤しており、ガソリン代以外は自己負担となっている。</p>
困っていること	<p>日本は韓国に比べて社会保障は充実しているが、保険料負担が重い。</p> <p>年金保険料を払わない若い人が増えていると聞くが、年金支給額は年々引き下げられており、いくら払っても自分が実際に受け取る年金がいくらになるのか不明確な状況では当然であると思う。だれもが受け取ることができる「最低年金」を保障してほしい。年金は年12回の支給であるのに、一時金からも保険料が天引きされることには納得できない。韓国では一時金からは年金保険料を徴収された記憶はない。「年金の受給年齢を引き上げて、死ぬまで働き、なるべく年金を受け取らないで死んでくれ」と言われているような制度だと思う。介護保険料負担も大きい。</p>
希望・要求	<p>韓国は日本以上に貧富の格差は大きく、表面にそれが表れやすい。その典型が子どもの教育であり、良い（名門）小学校から始まって大学を卒業することが、その後の一生を決めてしまうほど、学歴による貧富がはっきりと線引きされている。韓国で</p>

	<p>はどこの家庭でも子どもを持つ親たちは、幼いころから子どもにはとにかく「勉強すること」を叩き込む。学校の勉強だけでは足りない部分は、学習塾に通わせるのは日本と変わらず、子どもの教育費は相当な負担となっている。日本では高校までを義務教育として、だれもが負担なく学べるようにしてほしい。韓国ではソウル市内に暮らしていたが、今の生活とそうは変わらない。住居や食費などもほぼ同じくらいだが、日本の賃金は安すぎる、「年収 300 万円があたりまえ」では、共働きは必須であり、年金も当てにできない以上、元気なうちはずっと働きたいし、そうしないことには老後が心配。労働組合があることによりベースアップや一時金アップはたとえ少額であっても嬉しいが、就労制限するものとしては、最低賃金が 1,500 円になれば、今より少ない労働時間で同じ年収を稼げるので喜ばしいと思う一方で、年収は上がらない。最賃アップと同時に社会保険料負担や就労制限の見直しをする必要があると思う。</p>
--	---

19. 男性 40 代

属性	男性 40 代
家族構成	70 代の父母と 3 人暮らし
働き方の実態	週 5 日、1 日 5～6 時間（契約は 5 時間）の勤務センターの倉庫作業のパートで、時給は 1,100 円 時間帯は 14：30～20：00
暮らしの実態	現状はまだ、通常的生活を維持できている。 とは言え、自分の給料から、父母の生活に関する費用その他を出す機会が大幅に増えた。生活が逼迫する事への懸念は高まっている。家の経年劣化も進んでおり、それにかかる費用も心配の種となっている。
困っていること	単刀直入に、時給の低さを感じる。全体的な物価の上昇に給料の上昇が全く追いついていない。まさか、スタグフレーションを現実に経験しようとは夢にも思っていなかった。 父が耄碌しはじめている。言動、行動が怪しく、今後に不安が募る。介護を受けられるほどではなく、中途半端におかしな行動を繰り返すので手を焼いている。

希望・要求	<p>時給の上昇。</p> <p>正規と非正規の待遇差の改善（＝同一労働同一賃金の徹底）。識者の見解では最低でも4%の引き上げが必要と出ているので、約50円の賃上げが必要。ベースアップは無理でも、待遇差の改善は賃金差の改善でもあるので、其処は力を入れて欲しい。</p>
-------	--

20. 男性10代

属性	男性10代
家族構成	<p>兄・弟・おじ(40代)</p> <p>母(入院中)・祖父(入院中)</p> <p>兄弟とおじ3人の給料から生活費を出し合って生活している。</p>
働き方の実態	<p>特別支援学校を卒業して就職</p> <p>アルバイト職員（社会保険加入）</p> <p>勤務時間 9時30分～16時30分 たまに残業あり</p> <p>兄 センター配送に同乗</p> <p>弟 センターの事務作業</p> <p>時間給 915円</p> <p>自転車通勤 自宅から20分位</p>
暮らしの実態	<p>兄弟：兄弟とおじの3人で生活している。生活にかかる光熱費や食費などは、3人で出し合っている。</p> <p>兄弟：自分の給料から、こづかいと少しの貯金(定期預金)をしている。</p> <p>食事は、休日は3人揃って食事をしているが、平日は、各自自分の食事は自分で作って食べている。食材は土日にスーパーでまとめて買い、調理はあまり得意ではないが、食材をやりくりしながら作って食べている。</p> <p>兄：コンビニの商品には食品添加物が多く使われているので体には良くないと勉強したのでほとんど買いません。</p> <p>兄：昼食はセンター給食のお弁当(1食300円)を注文して食べているので、栄養は昼食で取っている。ご飯の量もその時々で大盛りにしてもらったりして食べている。とても助かっている。</p> <p>兄弟：仕事の時は制服があるので洋服には困りません。私服ももらいもので間に合わせているので被服代はかかりません。</p>

困っていること	<p>兄弟：コープで働き始めて1年8ヶ月。仕事にも慣れてきて、生活との両立もできています。</p> <p>兄弟：3人での生活の中で、もし病気やケガで働けなくなったらどうしよう。職場にも迷惑をかけてしまう。生活費も入れられないと思うことがあります。あまり考えないようにするために、仕事の事を考えたり、家では考えないよう寝るようにして、悩まないように切り替えています。</p> <p>兄弟：高校の時から入院している母と、一緒に生活をしていた祖父の入院があり、入院費用が足りなくなったときは3人で出し合っています。</p>
希望・要求	<p>兄弟：働き始めてから、時給は少しずつ上がりました。今は残業があるとお給料が増えるので助かりますが、もっと時給が上がるともっと助かります。</p> <p>兄：高校生の時からの夢は、きちんと働いて生活したいと思ってきました。夢がかない、安定した仕事をしてお金をもらう事ができていますが、アルバイトなので正規職員になれたらいいなと思います。</p> <p>兄：老後の事はまだ考えていませんが、生活実感アンケートの、あなたの家庭では月額あといくら必要ですか？では、月額あと6～7万円と答えました。もしもの時の生活費と老後の備えに回せるかと思います。</p> <p>政府に対する要求では、年金や介護など生活保障を強化して、安心して暮らせる社会になると、入院している母も年金でやりくりしている祖父も安心して療養できます。</p>

21. 女性 60代

属性	女性 60代
家族構成	60代の夫
働き方の実態	<p>2004年より、週5日の1日3.5時間で勤務。</p> <p>4年前まで夫の母親の介護をしており、店舗では管理代行（店舗の鍵開けと開店前の管理者不在時の代行業務）を担っていたため、勤務時間は固定されていた。介護がなくなってからは、自宅が近いこともあって、イレギュラーや有休取得などに対応するため、さまざまな時間帯で勤務している。時には2度出勤もある。</p> <p>130万制限で働くが、業務の都合にこたえて勤務すると毎年制</p>

	限の範囲ギリギリになって調整している。この 10 月の給与ですでに 110 万円を超えてしまって、あわてている。
暮らしの実態	夫は会社勤め⇒自営業⇒会社勤めと働き方を変えて来たので、自分は国民保険・第 3 号被保険者の期間があり、将来の年金支給額には期待できない。夫も会社勤めが長いわけではなく、賃金も多くはない。「定年以降も 70 歳までは働いてほしい」と常々言っている。
困っていること	現時点では生活に困ることはないが、老後への備えは心配。夫を介護する可能性はあるし、医療費や介護保険の負担も大きい。持ち家なので家賃はないが、さまざまな修繕に費用が掛かる。
希望・要求	年金があてにならないので、給与から「つみたて君」で預金している。元気なうちは少しでも収入を得たいので、この店舗が閉店しないように祈るばかり。せめて 70 歳までは働きたい。自分で社会保険料を負担してそれを自分にかせるならば、パートにもそれは必要だと思うが、低い賃金の中からの保険料負担は大きい。目先の支出には拒否反応してしまう。賃金引き上げや最低賃金 1,500 円はもちろん賛成だが、就労制限するものにとっては、働く時間を短くできるメリットあっても、年収は上がらない。社会保険と賃金の両輪で生活は成り立っているのだから、その両方を充実させる必要がある。今の制度やしくみを理解して課題を解決していく中で、「最低賃金 1,500 円」とみんなが同じ方向をめざすことができると思う。

22. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	本人 娘（既婚・別居） 息子（中学生）
働き方の実態	店舗勤務 一日 4 h ・月 80 h 契約（社会保障なし）週休 2 日 時給 1,010 円 一日一時間ほどの残業が常態化している。
暮らしの実態	いまは、パート収入と児童扶養手当、貯金の取崩しでやりくりしている。 息子が地域のクラブチームに入っていて、土、日曜日は練習や試合があるため、どちらかを休日にして応援に行く。休日がとれないときは、送った後に仕事に出ている。道具代や遠征の交

	<p>通費は自分持ちなので負担が大きい。</p> <p>また、娘の子ども（孫）を預かることもあり、孫はまだ小さく、目が離せないので、一日預かると疲れを感じる。</p>
困っていること	<p>息子の進学を考えると、今の収入をふやしたい。4時間契約を6時間に変更したいと相談したが、今の部門では無理と言われた。6時間働くなら部門を異動するか、掛け持ちするかを選択になるので悩んでいる。ダブルワークも考えて、情報誌などを見ている。子どものことができなくなることや、今から面接を受けて新しい職場で一から人間関係を築くことには躊躇するが、時間をのばせないなら、転職するしかないと考えている。いつもギリギリの人数でやっているのに、長い休みも取れないし、有休も使えず、身体がしんどいと感じる。</p>
希望・要求	<p>店長は現状、人を入れたり、増やすつもりがないらしい。</p> <p>（コロナなど）長期休みの人がでるなどで欠員になると、扶養範囲で働いている人はサービス残業をしてでも仕事をしている。そういった働き方をさせるのはどうなのか？</p> <p>できれば、慣れている今の部門で仕事を続けたい。</p> <p>時間とお金に余裕ができれば、東京に旅行に行きたい。</p>

23. 女性 40代

属性	女性 40代
家族構成	1人独立（本人・父親・姉妹）
働き方の実態	週5日
暮らしの実態	<p>コロナ禍になって目標や評価考課が変わり、時給が下がった。病気の父親の面倒は、ほぼ自分が見ている。病状がよくなることはなく、年相応にわがままになり、手がかかることが多い。将来的には施設に入れることを考えなくてはならないが、収入の面からは考えられないし、姉妹親戚とも話がしたいと思っているが、時間が取れない状況。</p>
困っていること	
希望・要求	<p>とにかく時給を上げてほしい。定時で帰れるような環境は今の自分には合っている。しかし時給を考えると、自分が生協に入った時はかなり時給が良かったのと、自分は評価が良かったの</p>

	で、時給は高い方だった。いまこんなに物価が上がっていて、だれもそんなことを考えていなかったと思うが、いまの賃金では生活はくるしい。でも求められることは多くなってきて、中身と賃金は合っていないと思う。
--	---

24. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	夫・子ども・本人
働き方の実態	忙しい
暮らしの実態	すべての値上げラッシュで生活がきつい。
困っていること	台車などの不足。次々と老朽化しているのに新品がこない。
希望・要求	病院に行くことなどを考え、時間給を取りたいが、時間給の考え方がよくわからない。 60 代前の時給にしてほしい。

25. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	単身
働き方の実態	繁忙期と閑散期では忙しさが極端すぎる。
暮らしの実態	ゆとりがなく、老後が不安。病気にかかれない。
困っていること	店舗や備品の老朽化や不足。ちょっとした作業の人手の不足。
希望・要求	有給休暇で法が定める 5 日以外の時間給の使用を増やしてほしい。1.5km からの通勤手当。土曜日加給と正月三が日の加給。繁忙期ほど拘束時間が長くなり、労災になりがちなので、リフレッシュ休憩があれば良い。(5 分間ずつなど) 最低賃金の全国統一。

26. 女性 40代

属性	女性 40代
家族構成	5人家族 子ども3人（6歳、13歳、16歳、収入なし）
働き方の実態	1日7時間（パート）＋1時間（アルバイト） 通常ダブルワーク（現在はコロナでトリプルワーク） パート 960円、アルバイト 1,350円、短期パート 935円 年収 195万円程度になる見込み
暮らしの実態	日中パートで7時間労働し、深夜時間帯に清掃のアルバイト1時間、コロナ禍でパート部分の残業がゼロになり、年間20万～30万程度の減収となるため、やむを得ずトリプルワークをして補填。子どもの進学のためにお金がかかる見込みなので、少しでも貯蓄したいが、生活は苦しい。
困っていること	法律を順守してトリプルワークをしているが、なかなか条件の合うものを見つけるのが大変。まとまった睡眠時間の確保ができないときがある。
希望・要求	月収20万～25万程度を目標に働いているが、非正規だと難しい。ゆとりを持って生活したい。非正規にもボーナスが欲しい。時給1,000円以上で働きたい。

27. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	自分と子ども2人
働き方の実態	パート
暮らしの実態	何もかも値上げで、パートでは生活がきびしい。
困っていること	今の生活が厳しいので、老後の蓄えができないこと。
希望・要求	1,500円以上の賃上げ

28. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	父・母・夫・自分・子ども
働き方の実態	労働的には厳しいものがあるが、いまのところ特に不満はない。夏の暑さと冬の寒さが厳しい。
暮らしの実態	何もかも値上がりして、生活は困窮するばかりである。
困っていること	
希望・要求	最低賃金が上がって、給料がアップしたように見えるが、生協の時給は何年も上がっていないので、来年度は時給アップを願いたい。正月休みを60%支給で保障してもらいたい。自分の有休を使いたくない) 時給 1,500 円を希望。

29. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	夫・本人・子ども 2人
働き方の実態	5時間契約だが4時間半勤務
暮らしの実態	一人暮らしの大学生を抱える我が家にとっては、相次ぐ値上げで家計が苦しい。
困っていること	家計を圧迫するので、病院に行くのに二の足を踏む。
希望・要求	コロナ前の勤務時間に戻ること。時給のアップ。1,000 円を希望。

30. 男性 60代

属性	男性 60代
家族構成	妻と 2人
働き方の実態	妻と 2人パートで働いて、ギリギリ。
暮らしの実態	2人とも病院代が毎月かかるので、贅沢はできません。

困っていること	これから寒くなり、光熱費が高騰しているのので、生活が苦しい。
希望・要求	最低賃金が統一になるとよい。時給 1,000 円を希望。

3 1. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	自分と大学生の子どもと 2 人
働き方の実態	1 日 6 時間契約だが、1 時間減らされて 5 時間の勤務。残業不可。店舗移動を命じられ、仕事内容も変更となり、その負担が身体にも影響を与え、腰のヘルニアが発症した。
暮らしの実態	夫も亡くなり、大学生の子どもは、県外の大学近くに住んでいるので、現在は一人暮らしとなり、全部自分でやらなければならないのと、生活を支えなくてはいけないので、いろいろなところに相談もしている。
困っていること	引っ越しをして 3 階に住むようになり、荷物の上げ下ろしが大変。将来的に生活をどうしていくのか、常に悩む。
希望・要求	コロナ前の状態には戻れないのか。 生活のために減時間分の金額を上乗せした時給にしてください。

3 2. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	夫・自分・子ども
働き方の実態	パート
暮らしの実態	苦しい（やりくりが大変です）
困っていること	食品で調節するしかないのに、値上げが激しすぎる。
希望・要求	物価高に見合った昇給の額にしてほしい。+30 円を希望。

33. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	父・自分・子ども 2 人（長男は就職、娘は高校 3 年生）
働き方の実態	子どもの学校送迎ができる時間帯に仕事ができるので、一日がうまく流れるようにと思っています。
暮らしの実態	娘を来春から東京の大学に行かせるので、学費、生活費が大変になります。日頃すべてが値上げになっているので、厳しいです。
困っていること	姑が施設に入っているのですが、病院に付き添うこと。実母は高齢で遠方にいるので、思いどおりに支援できなくてとても心配です。
希望・要求	夫が健康保険に加入しているため、年収 130 万円以内で仕事がしたいです。

34. 女性 30 代

属性	女性 30 代
家族構成	祖母・母・兄・自分
働き方の実態	コロナで休む人が増えて、有休が消化できない。
暮らしの実態	相次ぐ値上がりで買うものをひかえるようになった。
困っていること	休みが取れない。
希望・要求	1,000 円に時給アップと人員増を希望。

35. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫・自分・子ども
働き方の実態	
暮らしの実態	何もかもが値上がりになり、普段買っていた食料品や嗜好品をおさえるようになった。

困っていること	収入よりも支出が多くなったこと。
希望・要求	もう少し時給を上げてほしい。900円～950円。

36. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	夫（60代）・自分・子ども3人（同居2人）
働き方の実態	コロナ前は週5日の4.5時間 コロナの時短営業で週5日の3.5時間 現在は、週5日の3.75時間
暮らしの実態	週5日間の就労はできていますが、持病の治療費が高額なこと。他県に住んでいる高齢の両親の世話を週末に通い、物価の高騰、水道・光熱費の値上がり、収入は減っているのに、支出ばかりが増えていて、食費はもちろん、何を節約すればよいのか・・・。
困っていること	物価の高騰・光熱費の値上がり、ガソリンの高騰と、節約するところは、食費、衣服費はもちろん。持病の薬代が高額なので、新しい薬を提案されても価格でことわっている状態です。
希望・要求	週5日の4時間勤務を確保したい。交通費のガソリン代が全く見合っていないので、見直しをお願いしたい。時給は1,000円を希望します。

37. 男性 30代

属性	男性 30代
家族構成	両親・自分
働き方の実態	
暮らしの実態	ギリギリで生活できているが、物価が上がると生活できなくなる。
困っていること	給料が少ないこと。
希望・要求	時給を上げてほしい。1,000円以上にしてほしい。

38. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫・自分・子ども
働き方の実態	パートで週 5 日、4 時間 コロナ前と契約は変わらず
暮らしの実態	食品の値上がりが大きく、家計に響いている。買わずに我慢することも多々あり。 セール品自体も価格が知らないうちに上がっている。
困っていること	職場内で、勤務時間がコロナ前と同じに戻った人と、戻っていない人がいるので、働きづらい。 休みを取りづらい（人員不足）
希望・要求	勤務時間を平等にしてほしい。 人員不足の解消。 時給は、まず 1,000 円。

39. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫・自分・子ども 2 人
働き方の実態	コロナ以降、人手が減り、休みを取るのが難しくなった。また、勤務時間（営業時間）も長くなり、調整するのが難しくなった。
暮らしの実態	物（食品）や燃料の値上げが著しく、余裕がない。
困っていること	実際に働きたい人がいるにもかかわらず、税金の壁などで休まないといけない人もおり、年末は特に人手が足りない。
希望・要求	休まなくてはいけない時には、気兼ねなく休めるくらいの手手がほしい。また、働きたい人はもっと働けるくらいの制度を設けてほしい。

40. 女性 40 代

属性	女性 40 代
家族構成	自分・子ども 中学 3 年生の 2 人家族
働き方の実態	店舗で 7.5 時間契約（社会保険加入）
暮らしの実態	親と同居のため、家賃などはいらない。

困っていること	両親は 80 歳以上と高齢のため、今は良いが今後、暮らしていけるか心配。 息子の養育費、私の老後と貯蓄がなくこれから先が不安。
希望・要求	教育、老後と安心して暮らしていきたい。

4 1. 女性 50 代

属性	女性 50 代
家族構成	夫・自分・子ども 2 人の 4 人家族
働き方の実態	現状、今年度までは所得制限があるため、後半の出勤調整が十分にできないこともあり、一時金の受け取りができない状況。
暮らしの実態	夫の転勤などの事情により、賃貸住居。来年度より家賃補助がなくなる。物価の高騰が家計を圧迫している。
困っていること	
希望・要求	適正な人員の補充と希望する休みの確保、契約時間が守られるような労働。 時給は、1,000 円に。

4 2. 女性 60 代

属性	女性 60 代
家族構成	配偶者とは死別
働き方の実態	店舗で 7.5 時間（社会保険加入）
暮らしの実態	年金と給与で市営住宅で生活
困っていること	今は給与があるので贅沢はできないが暮らしている。 年金だけの生活になると暮らせるか心配。貯蓄もそこまでないので今の年金額でこのままの物価上昇だと不安でならない。
希望・要求	老後を安心してくらししていきたい。

II. 手記編

パートの手記 A生協

余生なく生きないと子どもに負担が

生協のパートで働き始めて13年目になります。子ども2人と夫の4人で暮らしています。今は子どもが成人して2人とも働き始めたので、生活できほっています。しかし、夫が転職を繰り返したため、退職金をあてにできません。老後の生活が不安です。子どもが学生の間は学費で余裕がなく、収入が一定でなかったため貯金もほとんどできませんでした。

生協に勤めはじめる前からパチンコ屋の夜間清掃をしていたので、生協に勤めてからも5年間くらいはダブルワークを続けていました。安定しない収入に不安があったので、少しの足しでもと続けていました。「生協での時給が増えたらダブルワークをやめて大丈夫」なんて、考えもしませんでした。「自分たちの能力がないから、収入が足りないんだ、足りなければ、家事に影響ない時間に仕事する時間を増やして収入を増やすしかない」としか考えませんでした。

自分が子どもの時は年に一回、家族旅行に連れて行ってもらいましたが自分の子どもには成人するまでに何回も連れて行くことはできませんでした。費用の心配と両方の仕事で同じ日に休みを取ることが難しかったからです。子どもに家族旅行の思い出をあまり作れなかったことを後悔しています。

睡眠時間も不規則だったので疲れが溜まって不機嫌になっていました。下の子どもが「お母さん、大丈夫？」と声をかけてくれた時、不機嫌のあまり、「大丈夫じゃない！」と怒ってしまったことがありました。子どもは「悪いことをした」という顔をしました。気を使ってくれたやさしい思いを私は踏みにじってしまったのです。そのことを思い出すたびに子どもにつらい思いをさせたこと、そこまでしてダブルワークしていたことを後悔し、しばらくしてパチンコ屋の清掃を辞めました。

考えないようにしていますが、老後の生活が心配です。身体が元気なうちとはにかく働いてコロリと死なないと子どもに金銭的にも負担をかけることになりそうです。

時給があがったら、もっと貯金して子どもに迷惑がかからないようにしたいです。

パートの手記 B生協

普通に働けば非正規でも自立できる社会に

私は60代女性、現在再雇用で働いています。同じく60代で、再雇用で働く夫との2人暮らしです。夫婦とも1年契約の契約社員です。収入は、夫婦の月給プラス夫の年金（国民年金＋厚生年金）、間もなく私の老齢厚生年金が支給されます。ですので、退職するまでは瞬間的に収入は増えますが、いずれは年金のみの収入になり、どちらかが亡くなればその後の年金額も大幅に減ります。つまりこの先は死ぬまで収入が減っていただけなので、不安は大きいです。

老人2人の生活ですので食費など普段の生活費はそれほどかかりません。しかし築60年になる家の水回りのリフォームをせざるを得ず、近い将来、決して多くはない年金収入のみになっても、その中からリフォームローンの返済をしていくこととなります。また、ここ数年は毎年夫が病気で入院、手術を繰り返し、そのたびに高額な医療費を払っています。かかりつけ医から大学病院を紹介され、そこで先進的な治療を受けられることはありがたいですが、高額療養費制度を利用できなければ治療は受けられなかったと思います。また入院・手術となれば、それに付随する諸費用が様々かかります。年齢的にも今後こういうことは増えていくと思うので、そのための費用は必ず準備しておかなければなりません。

私は30年以上厚生年金を払い続けていますが、老齢厚生年金の支給金額は40万円程度です。パートで長年フルタイムで働いてきても、収入が低いため、現役時代も老後も、一生、自分の給与・年金で暮らせる収入を得ることはできません。それが今の現実です。普通に働けば、非正規でも自立して生活の不安なく生きていける社会にしてほしいと、今、実感しています。

パートの手記 C生協

心に余裕の持てる人間らしい生活を

ダブルワークをしている私の友人は、奥さんと子ども3人の家族5人で生活をしています。昼間は民間企業で正規職員として働いています。月曜日から金曜日までは一日7時間（休憩を含めて8時間）、土曜日は5時間で週40時間働いています。もう一つの仕事は、月曜日から金曜日まで19時から23時までの4時間、週で20時間働いています。2つ合わせて毎週60時間働いていることとなります。更に昼間の仕事は、月に20時間から30時間の残業があります。

こういう働き方を始めたのは、奥さんが3人目の子どもを出産してから体調がすぐれなかったこともあり、子育ての大変さも考えて、それまでの奥さんの100万円超の年収を維持するために始めたとのこと。週40時間と20から30時間の残業、そして夜の仕事をしやると年収は600万円くらいで、住宅ローンや学費で一切ゆとりのない生活だと言っています。住宅ローンで年間約100万円、学費などで年間100万円、税金その他もろもろで100万円、可処分所得は300万円弱で5人の生活を維持しなくてはならないということです。上の子どもは大学生、2番目は高校生、3番目は今年4歳の幼児ですが、上の子どもが幸いにも公立の大学で自宅から通ってくれて奨学金も借りていますので、この年収でもなんとかやっています。もし私立にでも入り県外に行っていたら家計は成り立たなかつただろうと言っています。そういう点では、高校の授業料が無償化されたことは大変助かり、大学の学費もこんなに高くなければいいのにと言っています。

また、もし夜の仕事の時給が、1,500円になれば週20時間でも年収で150万円は上回ることができ、現在よりも約40万円多い収入となります。もし最低賃金が1,500円になれば、当然昼間の民間企業の正規職員の賃金にも影響が及んでいきます。そうすると、週に60時間も働かなくても、労働基準法で定められた週40時間で年収はなんとか維持できるようになり、それこそ人間らしい生活が営めると思います。そういう生活を私は希望しますと彼は言っています。

私の職場では、そこで得られる収入だけで生計を成り立たせている方も半数近くおられます。彼女たちが、就業規則の上限時間、週37.5時間働くとしても、現在の時給925円では年収は180万円弱で、いわゆる働いても働いても貧困であるワーキングプアの状態です。もし時給が1,500円になれば年収は300万円弱となり、人並の生活が営めると思います。

私は、必死で働いているのにカツカツの生活しか営めない現状はおかしいと思います。彼は、自分がもし病気にでもなったらと思うとぞっとすると言っています。もう少し働く者の賃金を上げて、余裕のある生活が営めるようにしないと消費もできません。そして何といたっても心に余裕の持てる人間らしい生活が営めません。

時間給労働者の時給が上がれば、正規職員の賃金も必然的に上がります。最賃1,500円で人間らしい最低限の生活を保障してください。

パートの手記 D生協

不安なく生活できる社会に

私は60代女性、1年前まではパートで働いていましたが定年を迎え、再雇用で働くようになりました。パートで働いていた時は月給制でしたが再雇用になると、時給制に替わります。収入は手取りで月約3万円位（残業代含）の減収です。私は週5日働いています。再雇用で働くことで同じ仕事をしていても時給が下がることに不満を感じます。

夫は60代後半で週3日仕事をしています。年金と合わせても以前の収入には足りません。

夫婦2人の生活です。食費や光熱費など切り詰めていますが、現在の物価高騰にはとても厳しいです。現在車を保有していますが、管理費やガソリン代も馬鹿にできません。年齢的にも免許証を返納することを考えたりもします。夫は持病があり、これから年を重ねていくうえで、健康面も気になります。医療費もかかるし、その他の費用も必要になると思うと準備も必要になります。少ない貯蓄を切り崩して生活をするのは考えられません。

私は、子育て中は夫の扶養（3号保険者）でした。パートで厚生年金をかけて働く期間が短く、パートの収入で保険料をかけていても、もらえる年金額は少ないです。今後、自分の給与や年金で暮らしていくことにとっても不安を持っています。元気なうちは働きたいと思えますし、働かなければ生活ができません。今後、不安なく生活ができる社会にしてほしいです。

パートの手記 E生協

子どもの夢や希望をお金であきらめさせたくない

夫と4歳の娘と3人暮らしです。両親、義両親とも隣県に暮らしており、日々の育児を協力してもらえる距離ではありません。ただ幸い、現在は介護や金銭的な援助が必要な状態ではありません。娘は発達障害を抱えています。現在は一般の保育園に週4日、障害児向けの児童発達支援事業所に週1日通っています。

大学生協で13年、正規職員として勤務し、産休育休も取得しましたが、22年6月末で退職しました。その後は同じ大学生協で定時職員として勤務していません。

退職の理由は、娘の児童発達支援事業所の利用を始めるにあたり、どうしても

平日のお休みが必要になり、所定労働日数を勤務することが難しくなってしまったことと、育児と正規職員としての仕事の両立が、精神的にも体力的にもきつくなってしまったことです。退職して平日に週 1 日、娘とゆっくり過ごす時間をとることができるようになり、仕事そのものの負荷も軽くなったので、気持ちには少し余裕が生まれました。なので退職したことそのものは後悔していません。

現在の勤務は週 4 日、時給 1,040 円、契約時間 9 時半～18 時、年収は 120 万円程度です。

正規職員時は、時短勤務をしていたため 9 時半～16 時半の勤務でしたが、年収は 270 万円程度ありました。

収入を少しでも取り返すため、勤務日の拘束時間は極力長くしましたが、それでも半分以下になりました。

今年ようやく、自分の奨学金の返済を終えたのですが、入れ替わりのタイミングで収入が減ることになりました。3人で慎ましく生活するだけならなんとかなりますが、貯蓄に回すまでの余裕はありません。幸い、結婚するまで祖母と同居していたので一定程度の貯金をすることができ、最低限の子どもの進学費用は取っておいてありますが、費用のかかる理系学部や、留学などを希望したとしても安心して送り出してあげられるか…というところまでの余裕はありません。これから出てくる娘の夢や目標を、お金で諦めさせたくはありません。

大学生協は、コロナ禍での経営ダメージが大きく、正規職員もパートも踏ん張っています。コロナ禍当初の閉店をした時期、勤務するパートを減らさざるを得ませんでした。その影響で大きく収入が減ったパートたちがあり、また、人手の足りない中で多くの作業を担ってきたのは、主に若い店長層です。過大な業務負荷に疲れて職場を離れる正規職員もいます。パートも正規も含め、人手不足の解消、無理なく働ける労働環境への改善を望みます。

パートの手記 F生協

安心して迎えられる老後を

私は入協 6 年目、50 代後半のパート職員です。

入協時は夫の会社の配偶者手当があったので、103 万円の扶養枠内で働いていましたが、夫が 60 歳になり、手当がカットされたので、今年の 3 月から社会保険をつけて働いています。メインは店舗カウンターでの仕事ですが、他のパートさんとの投下時間数の兼ね合いもあり、ロングで働くために人手が足りない夜の

レジや品出しをしています。

運送会社で働く会社員の夫は、同じ仕事をしているのに60歳過ぎたら年収100万円程減りました。娘2人は自立しましたが、夫の両親が施設に入っているのも、毎月仕送りしている状況です。

閉店時間の夜9時半まで働いても、手取り額の少なさにがっかりします。食費は見切り品のものばかり買って節約しています。家族そろっての外出も数年に一度という感じです。

何より、一番の不安は老後の生活です。物価上昇に見合った賃金上昇はなく、支出だけが増えていき、今後大幅な増税も予想されており、はたして人生の終盤を人間らしく安心して暮らしていけるのか？体力が続かなくなったらどうするのか？

安心して暮らせる老後のため、早く最低賃金を1,000円以上に上げてほしいです。今、年金受給額を増やそうと思ったら70歳までフルタイムで働くか、勤務時間を増やして働く、又はその両方をするしかありません。老後安心して年金で暮らしていけるような社会になってほしいです。

パートの手記 G 生協

全国一律最賃制度と大幅引き上げを

私は60歳で定年退職後、再雇用スタッフとなり4年目です。あと1年で年金支給になりますが、年金だけの生活では到底無理があり、身体が続く限り働きたいと思っていました。去年は、私が病気で入院、夫も入院と続き、金銭的にも身体的にも不安な年でした。さらに値上げラッシュでガソリン代や食料品などいろいろな物の値上げ！値上げ！で生活はひっ迫しています。

そんな中で、最低賃金に張り付くような賃金ではこの先の生活や、身体のことを考えるとやはり不安で仕方ありません。各都道府県最賃の発表がある時にいつも思うことなのですが、生活水準はどこにいてもほぼ変わらないのに、なぜA B C Dに分けているのか？何を基準にA B C Dに分けているのか？

他の国できている同一労働同一賃金がなぜ日本でできないのか？本当に疑問だらけです。安心して暮らせるように最低賃金の引き上げと全国一律最賃制度を望みます。